

夢へ向かって飛び立とう ～あしたへジャンプ～

日時 令和4年2月24日（木） 第5校時
場所 2年2組教室
学級 第2学年2組（31名）

1 単元のデザイン

本単元の目標

これまでの表現物などを手掛かりに自分の成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとする事ができる。

単元観

本単元では、これまでの表現物などを手掛かりに自分の成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとする事ができることをねらいとする。

本単元で、まず、児童は大きくなった自分のことについて調べる活動を行い、過去と現在の自分を比較しながら、できるようになったことや内面の成長に気付く。その後、自分の成長について一番かきたいことを選び出して作品に表すことで、自分自身のよさや可能性に気付く。そして、自分自身の成長と周囲の人々の存在を関係付け、周囲の人々に感謝の気持ちを伝えることで、たくさんの人に支えられて成長していることに気づき、3年生になっても意欲的に日々の成長を送ろうとする態度を育てることができる。

本単元と実生活との関わり

児童は「ありがとうの気持ちを伝える活動」を通して、自分はたくさんの人に支えられて生活し成長していることに気付く。その気づきから、成長には周囲の人々の存在が必要であることを理解し、今後、より積極的に他者と関わっていかこうとする姿が期待できる。また、自分の成長を振り返る活動を通して、成長には努力が必要なことに気づき、何事にも粘り強く取り組んでいかこうとする姿が期待できる。

指導観

- 日常生活や学校における児童の具体的な行動を振り返らせたりすることで、児童が自身の内面的な部分の成長に気付くことができるようにする。
- 児童が自分自身の成長をより実感できるように、幼少期の写真や遊んでいたおもちゃ、具体的なエピソードなどを事前に各家庭で聞き取るなど、児童が自分で情報を集める活動を設定する。
- 児童が自分の成長には家族をはじめとした様々な人々がかかわっていることに気づき、それらの人々に感謝の気持ちを伝えようとする意欲を高めるために、自分の家族とのエピソードや出来事などから自身の成長を振り返る活動を設定する。
- 児童が、お世話になった人々に感謝の気持ちを伝える場を設定することで、自分の成長を感じたり、感謝の思いを分かりやすく伝える方法を考える必然性をもったりすることができるようにする。

児童生徒観

前単元や他教科のワークシート、レディネステスト、事前の意識調査の分析を行った。結果は以下の通りである。

評価の観点	内容	通過率 肯定的回答
知	自分が小さいころと比べて成長したと思うところを5つ以上書く。	100%
知	自分の成長には、周りの多くの人たちがかかわっていると思います。	88%
課	授業では解決しようとする課題について「なぜだろう」「やってみよう」と思います。	79%
課	授業では、「どうすれば課題を解決することができるかな」と考えています。	83%
情	本や図鑑などを読んだり、人に聞いたりして調べることができます。	79%
整	情報の比較・分類・関係付けができる。	88%
ま	自分が考えたことを、理由を付けて伝えていきます。	79%
粘	授業では上手いかななくてもあきらめず、最後まで取り組んでいます。	83%
×	上手いことや失敗したことなどの理由を考えています。	91%

以上の結果から、本学級の児童には、自分で情報を集めたり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるようにまとめたりすることに課題があることが分かる。その原因として、情報を集める際に見通しをもたせたり、まとめる際に目的に応じたまとめ方を指導したりすることが不十分だったことが考えられる。

2 本校の資質・能力と本単元との関わり

学習指導要領に示す目標や内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
本校	知識及び技能	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力
本単元	自分でできるようになったことや内面の成長、自分自身のよさや可能性、自分は周囲の人々に支えられて成長していることへの気付き。	自分の成長について気付いたことの中から、周囲の人々の存在と自分の成長を関係付け、感謝の気持ちの伝え方を工夫すること。	課題解決に向けて、友達の考えや意見を聞きながら協働して活動に取り組むこと。	学級の友達と試行錯誤して、あきらめずに楽しみながら周囲の人々への感謝の思いの伝え方を考えること。	学習したことを振り返り、学習や生活に生かそうとすること。

3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
<ul style="list-style-type: none"> 自分自身が成長するとは、どういうことだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちは、どのように成長してきたのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分は、どんなところが成長したのだろうか。 周囲の人々に対して、どのように感謝の気持ちを伝えるとよいだろうか。 友達は、どんなところが成長したのだろうか。 これからもっと成長していくためには、どのようなことが必要だろうか。

4 単元の評価規準及びルーブリック

学習指導要領に示す目標や内容	資質・能力(本校)	観点	A	B	C
知識及び技能	知識及び技能	知識	<p>自分ができるようになったことや、自分自身が成長したことを、過去の自分と現在の自分を比較しながら見付けている。</p> <p>自分自身の内面などの具体的なよさや、様々な可能性に気付いている。</p> <p>具体的な体験やエピソードをもとに、自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。</p>	<p>自分ができるようになったことや、自分自身が成長したことを見付けている。</p> <p>自分自身のよさや可能性に気付いている。</p> <p>自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。</p>	<p>自分ができるようになったことや、自分自身が成長したことを見付けていない。</p> <p>自分自身のよさや可能性に気付いていない。</p> <p>自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いていない。</p>
思考力、判断力、表現力等	課題発見・解決力	<p>課題設定</p> <p>情報収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>やってみたいと思ったことを主体的に見付け、それを基に課題を設定している。</p> <p>友達との関わりを振り返り、友達のよいところを具体的なエピソードとともに見付け、カードにまとめている。</p> <p>家庭や友達同士での聞き取りを行い、多くの情報を収集している。</p> <p>過去と現在の自分を比較しながら、自分のできるようになったことや、自分自身の成長したことを見付け、その理由を考えている。</p> <p>自分の成長を支えてくれた人々に対して感謝の気持ちを伝えるために、様々な方法を考え、選んでいる。</p> <p>自分が成長することができた理由として、周囲の人の様々な支えを挙げながら、感謝の気持ちを伝える人を決めている。</p> <p>目標の達成のために、これから何をどのようにしていけばよいか、様々な方法を考え、具体的に書いている。</p> <p>自分自身のできるようになったことや内面的な成長を過去の自分と比較しながら考え、自分の成長にかかわってくれた人々への感謝の気持ちを工夫して伝えている。</p>	<p>やってみたいと思ったことを見付け、それを基に課題を設定している。</p> <p>友達との関わりを振り返り、友達のよいところを見付け、カードにまとめている。</p> <p>家庭や友達同士での聞き取りを行い、情報を収集している。</p> <p>過去と現在の自分を比較しながら、自分のできるようになったことや、自分自身の成長したことを見付けている。</p> <p>自分の成長を支えてくれた人々に対して感謝の気持ちを伝えるための方法を考え、選んでいる。</p> <p>自分が成長することができた理由として、周囲の人の支えを挙げながら、感謝の気持ちを伝える人を決めている。</p> <p>目標の達成のために、これから何をどのようにしていけばよいか、具体的に考えて書いている。</p> <p>自分自身のできるようになったことや内面的な成長を考え、自分の成長にかかわってくれた人々への感謝の気持ちを伝えている。</p>	<p>やってみたいと思ったことを見付け、それを基に課題を設定していない。</p> <p>友達のよいところを、見付けていない。</p> <p>情報を収集していない。</p> <p>過去と現在の自分を比較せず、自分のできるようになったことや、自分自身の成長したことを見付けていない。</p> <p>自分の成長を支えてくれた人々に対して感謝の気持ちの伝え方を考えおらず、方法を選べていない。</p> <p>自分が成長することができた理由として、周囲の人の支えを挙げられず、感謝の気持ちを伝える人を決めている。</p> <p>目標の達成のために、これから何をどのようにしていけばよいかについて、考えていない。</p> <p>自分自身のできるようになったことや内面的な成長を考え、自分の成長にかかわってくれた人々への感謝の気持ちを伝えていない。</p>

学びに向かう力、人間性等	コミュニケーション能力	協働性	課題解決に向けて、友達の考えや意見を聞きながら協働的に活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、友達の考えや意見を聞きながら活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、友達の考えや意見を聞いていないし、活動にも取り組んでいない。
	粘り強く学習に取り組む態度	粘り強く学習に取り組む態度	<u>自分の成長についてまとめたという思いをもち、自分の内面的成長を踏まえた適切な方法で作品を作ろうとしている。</u>	<u>自分の成長についてまとめたという思いをもち、適切な方法で作品を作ろうとしている。</u>	<u>自分の成長についてまとめたという思いをもたず、適切な方法で作品を作ろうとしていない。</u>
	自己調整力	メタ認知	学習したことを振り返り、具体的なことを学習や生活に生かそうとしている。	学習したことを振り返り、学習や生活に生かそうとしている。	学習したことを振り返り、学習や生活に生かそうとしていない。

※下線のある評価基準は生活科の評価基準と重複するもの。

5 単元と評価の計画（全 27 時間）

時	学習活動	評価			
		知	思	態	
1	整理・分析 入学してから2年間の出来事を振り返り、できるようになったことや大きくなったことに気付き、もっと自分のことについて調べる。	知			・自分ができるようになったことや、自分自身が成長したことを見付けている。 （ワークシートの分析）
2					
3					
4	情報の収集 友達との関わりの中で成長したことを振り返り、優しさや思いやりなど、自分自身の内面の成長に気付く。				・友達との関わりを振り返り、友達のよいところを見付け、カードにまとめている。 （ワークシートの分析）
5					
6					
7	入学以前の小さいころからの成長の様子を知るため、お世話になった人や家の人などに、自分の成長についてインタビューする。				・家庭や友達同士での聞き取りを行い、情報を収集している。 （ワークシートの分析）
8					
9					
10	振り返り 友達からもらったカードやインタビューなどを手がかりに、過去の自分と比較し、自分の成長について振り返る。	知			・自分自身のよさや可能性に気付いている。 （ワークシートの分析）
11					
12					
13	課題の設定 自分のことをまとめたいという思いをもち、調べたことを基に、どんな出来事をどのような方法でまとめるのかについて計画を立てる。				・やってみたいと思ったことを見付け、それを基に課題を設定している。 （ワークシートの分析）
14					
15					
16	整理・分析 まとめ・表現 資料や材料を集め、方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。				・自分の成長についてまとめたいという思いをもち、適切な方法で作品を作ろうとしている。 （ワークシートの分析）
17					
18					
19	課題の設定 なぜ自分が成長することができたのか、その理由を考える。	知			・自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。 （行動観察）
20					
21					
22	情報の収集 感謝の気持ちを伝えたい人を決め、発表したいことや、発表の方法について話し合う。				・自分が成長することができた理由として、周囲の人の支えを挙げながら、感謝の気持ちを伝える人を決めている。 （行動観察）
23					
24					

<p>19 ・ 20 ・ 21 本 時</p>	<p>整理・分析 自分の成長を支えてくれる人に感謝の気持ちを伝えるため、自分の未来の姿と頑張ることを話し合う。</p>		<p>整</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目標の達成のために、これから何をどのようにしていけばよいか、具体的に考えて書いている。 (ワークシート)
<p>22 ・ 23 ・ 24</p>	<p>情報の収集 整理・分析 伝えたい気持ちをまとめ、発表の準備をする。</p>		<p>コ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて、友達の考えや意見を聞きながら活動に取り組んでいる。 (行動観察)
<p>25 ・ 26</p>	<p>まとめ・表現 ありがとうの気持ちを伝える発表会を開く。</p>		<p>表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身のできるようになったことや内面的な成長を考え、自分の成長にかかわってくれた人々への感謝の気持ちを伝えている。 (行動観察)
<p>27</p>	<p>振り返り 発表会を振り返り、話し合う。</p>		<p>メ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 (ワークシート)

6 本時の目標及び学習展開

(1) 本時の目標

お互いの夢や目標に関する話し合いを通して、自分の目標の達成のためにはどうしていけばよいか考え、表現できるようにする。

(2) 本時の学習展開

主な学習活動 ○指導者の主な発問 ・児童生徒の思考	指導上の留意点 ★評価規準、※評価方法
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>○前の生活科の時間には、どんな学習をしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが立てた将来の夢や、目標をもとに、目標達成シートを作成しました。 <p>2 自分たちが作成した目標達成シートを見て、気付いたことを交流する。</p> <p>○みんなが作ったシートを見てみましょう。これで目標は達成できるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をしたらいいんだろう。 ・これだけでは、目標は達成できないな。 ・もっとくわしく書いたらいいんじゃないかな。 <p>3 本時の課題を設定する。</p>	<p>○前時の学習を想起するために作成した目標達成シートを提示する。</p> <p>○目標達成のためには、具体的な行動が必要であることに気付くようにするために、抽象的な行動を提示する。</p>
<p>㉞ どんなことをすれば 目ひょうに 近づけるだろう。</p>	
<p>4 作成した目標達成シートから、具体的にどのようなことをすれば、目標達成に近づけるのかについて考え、グループで交流する。</p> <p>○目標達成のために、どんな項目を挙げていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー選手になるために、足が速くなりたいです。 ・パティシエになるために、料理が上手になりたいです。 ・医者になるために、勉強ができるようになりたいです。 <p>○それらは、どうすればできるようになりそうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足が速くなるには、毎日トレーニングをします。 ・料理が上手になるために、毎日家で料理の手伝いをします。 ・勉強がもっとできるようになるために、毎日の宿題を欠かさずにやります。 <p>5 本時の学習をまとめる。</p> <p>○学習をふり返って、まとめましょう。</p>	<p>○目標のためにどうしていきたいのかについて、具体的に書くことで、今後の生活への期待感を膨らませるようにする。</p> <p>★目標の達成のために、これから何をどのようにしていけばよいか、具体的に考えて書いている。</p> <p>※ワークシートの分析</p>
<p>㉟ (例) しょう来パティシエになるために、毎日家でりょう理の手つだいをしたり、おかし作りの本を読んでべん強すると、目ひょうに近づけると思いました。</p>	

7 板書計画

ゆめへ向かってとび立とう

㊦

どんなことをすれば、
目ひょうに近づけるだろう。

○目ひょうたっせいシート

・サッカーせん手 →

足が速くなる。

・パティシエ →

りょう理が上手くなる。

・かんどし

べん強をがんばる。

○どうすればできるようになるだろう。

- どう画を見てトレーニングをする。
- 本を読んでべん強する。
- 毎日家でりょう理の手伝いをする。
- しゅくだいをわすれずにやる。